

平成25年雲南市議会 3月定例会代表質問通告一覧表

平成25年2月27日

質問 順位	①会派名 ②議員氏名 ③議席番号	項 目	要 旨	備 考
1	①フォーラム志民 ②山崎 正幸 ③16番	1. 財政運営について	<p>(1) 緊急経済対策と財政運営について</p> <p>① 日本経済再生に向け、長引く円高・デフレ不況から脱却し、雇用並びに所得の拡大を目指すため、国は10兆円規模の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」が閣議決定された。</p> <p>雲南市においては、地域活性化並びに経済対策として国の補正予算等を活用し、一般会計で5億2,100万円、水道事業会計で2億円等が計上されている。</p> <p>経済対策への国民の期待は大きなものがあるが、雲南市にとって、これまで実施されてきた経済対策に比べて経済効果は大きなものとなるのか。</p> <p>また、雲南市の中期財政計画に与える効果をどのように考えているか。</p> <p>(2) 地方交付税算定制度の見直しに向けた取り組みについて</p> <p>① 平成25年度から平成29年度の中期財政計画が示された。それによると雲南市の歳入の半分を占める普通交付税が段階的に削減され、平成29年度に2億3,000万円の収支不足が想定される。あれもこれもではなく、事業の選択と集中が求められるが改革の取り組み方針は。</p> <p>② 雲南市が発案し、類似自治体である岡山県真庭市、美作市、広島県安芸高田市と連携し、国に対し制度の見直しを求めているが、現況は。</p>	

質問 順位	①会派名 ②議員氏名 ③議席番号	項 目	要 旨	備 考
			<p>(3) 上下水道事業運営と財政に与える影響について</p> <p>① 上水道事業運営は、人口減少や少子高齢化の進展、並びに節水意識の高まり等により給水量は減少傾向にある。</p> <p>給水量の減少は取りも直さず給水収益の減少に直結しており、市の水道事業運営が厳しいものになることが予想される。</p> <p>市では昨年2月に平成25年度から平成28年度までの料金算定期間として、雲南市水道事業に関する審議会に水道事業運営並びに料金改定について諮問され、10月に現行の体系を維持しつつ、基本料金を平均4.3%、従量料金単価を5円引き上げる答申があった。</p> <p>また、国の方針として平成28年度末までに簡易水道事業を上水道事業に経営統合することが示されている。</p> <p>統合後は公営企業会計に移行することで、新たに簡易水道の原価償却費が発生し、一段と経営が厳しくなることが予想される。</p> <p>水道は住民生活に直結するもので、生活の根幹をなすものであると認識している。</p> <p>今後の上水道事業運営の見通しと財政に与える影響について伺う。</p> <p>② 生活環境の向上の観点から、昭和60年度から22地区で農業集落排水処理事業が始まり、平成2年度から3地区で公共下水道事業等に着手され整備された。</p> <p>一方、平成12年度から市町村設置型として合併浄化槽を2,770基設置され維持管理している。</p>	

質問 順位	①会派名 ②議員氏名 ③議席番号	項 目	要 旨	備 考
		2. 行政組織のあり方と公の施設の見直しについて	<p>上水道事業と同様に人口減少や少子高齢化等により収益率は年々悪化し、今年度は一般会計からの繰入金は約5,200万円多い、16億700万円で厳しい状況である。</p> <p>今後の下水道事業運営の見通しと財政に与える影響について伺う。</p> <p>(1) 行政組織の見直しについて</p> <p>① 庁舎建設基本計画では、「来庁者にわかりやすく利便性の高い庁舎」であり、「市民ニーズに対応し効率的な行政事務ができる庁舎」と位置づけられている。</p> <p>市民が、地域の課題である福祉の推進やまちづくりへの相談があつて訪れた場合、どのように対応するのか。</p> <p>また、それに向けた組織体制の見直しを進めていくのか。</p> <p>(2) 庁舎と総合センター、交流センターの関係について</p> <p>① 庁舎と総合センターの関係及び役割分担の見直しについて伺う。</p> <p>さらに、交流センターを中心に活動している地域自主組織と行政の関係に変化はあるのか。変化があるとすれば、どのような方向で変化するのか。</p> <p>また、地域自主組織活動への支援はどこが担当していくのか。</p> <p>(3) 閉園・閉校の施設及び跡地利用について</p> <p>① 雲南市立学校適正規模適正配置基本計画に基づき、廃園・廃校跡地利用に関する3つの基本方針が示された。</p> <p>基本方針の1つに特別な事由がない限り、閉園・閉校後3年以内</p>	

質問 順位	①会派名 ②議員氏名 ③議席番号	項 目	要 旨	備 考
			<p>に取扱方針を決定し、活用の目途がたたない場合には、実施計画・中期財政計画の普通建設事業の枠の範囲内で計画的に取り壊すと方針が示された。</p> <p>地域で跡地利用及び施設利用について協議がまとまった場合の施設修繕等への支援が示されていない中、地域は検討に踏み出せないと考える。</p> <p>多くの公共施設があるが、学校施設は地域の中心的な施設であり地域の思いは大きいものだ。</p> <p>3年以内の利用方針の決定をうたうなら、当然に施設修繕等への支援を設けるべきと思うが考えを伺う。</p> <p>(4) 交流センターの整備について</p> <p>① 地域活動の拠点である29の交流センターの内、約半数の15施設は築30年以上経過した老朽施設であり、今後木造による建て替えが検討されている。</p> <p>実施計画では、掛合交流センター以降の事業費が計上されていない。</p> <p>廃園・廃校施設の活用も視野に入れ実施計画の見直しが必要と考える。</p> <p>また、財政計画へも大きく影響を与えるが、合わせて見直しが必要と考える。</p> <p>健全な財政運営は雲南市にとって当然必要と認識しているが、人口減少や少子高齢化にあっても地域の疲弊に対して、地域が立ち上がろうとする際の支援は、他の事業を削ってでもやるべきではない</p>	

質問 順位	①会派名 ②議員氏名 ③議席番号	項 目	要 旨	備 考
		3. 活力と賑わいのあるまちづくりについて	<p>かと考えるが所見を伺う。</p> <p>(1) 中国横断自動車道開通の効果と取り組む施策について</p> <p>①企業誘致について</p> <p>3月30日に中国横断自動車道の松江から三次JCTまでが供用開始される。</p> <p>中国横断自動車道の全線開通を見据えて、新たな産業拠点の整備に向け「産業集積拠点形成アクションプラン」の策定に着手される。</p> <p>企業団地の造成には、売却の見通しが無い中で莫大な事業費をつぎ込むことになり、その処理に苦労している自治体も多くあるのが現状である。</p> <p>雲南市は何をセールスポイントとして売り込めるのか、他自治体との違う強みは何か見通しを伺う。</p> <p>また、ホームページを活用し積極的な情報発信が必要と考えるが取り組みについて伺う。</p> <p>②観光の振興について</p> <p>雲南市の「食の幸」や「人の幸」を活かした観光振興に一定の評価をするが、雲南市が誕生して9年目でまだまだ発展途上だが、中国横断自動車道の全線開通に伴う観光交流人口の拡大や外貨の獲得に向けた取り組みについて伺う。</p> <p>これまで取り組んできたことが、しっかりと広島や山陽方面に届いているのか。</p> <p>さらに、雲南市を訪れていただく方々への積極的な情報発信に取り組むべきであるし、また、地域で取り組んでいるツーリズムなど</p>	

質問 順位	①会派名 ②議員氏名 ③議席番号	項 目	要 旨	備 考
			をより活発化することも必要と考えるがどうか。	
2	①清風雲南 ②周藤 強 ③18 番	1. 安倍政権について 2. 所信表明について 3. 経済対策について	(1) 政権交代により安倍政権が誕生した。アベノミクスなるものが示され、国民の期待感が上昇しつつある。 夢を描きながら合併した雲南市であったが、合併直後から小泉改革の影響により「こんなはずじゃなかった」の8年であったが、速水市長にとっては3期目就任と時を同じくして安倍政権が誕生し、アベノミクスなるものが示されたのは、雲南市に活力を引き出すには千載一遇のチャンスだ。所見は。 ①安倍政権・アベノミクスに期待するものは何か。 ②千載一遇のチャンスだとすれば、それを何に活かすか。 (1) 平成 25 年度の所信表明で 7 つの施策、それに伴う事業が示された。所信表明は施策が並列的に述べてあり、重要施策・ポイントが分かりにくい。 「安全・安心」「活力と賑わい」「生涯現役」が市長の「3本の矢」と解しているが、それぞれに特に力を入れたいものは何か。 ①「安全・安心」で特に力を入れたい事業は何か。 ②「活力と賑わい」で特に力を入れたい事業は何か。 ③「生涯現役」で特に力を入れたい事業は何か。 (1) 政府において国土強靱化計画が示された。地域経済の低迷に悩む地方自治体は公共事業の増大により、景気浮揚による「地域活性化」と共に「地域づくり」にその望みをかけている。	

質問 順位	①会派名 ②議員氏名 ③議席番号	項 目	要 旨	備 考
		4. 市立病院について	<p>①当地方では建設業界の動向が地域経済の景気感を左右すると言っても過言でない。このことについて市長はどのように捉えているか。</p> <p>②普通建設事業の24年度補正予算と25年度予算で波及効果はいかほどと考えているか。</p> <p>③公共事業の拡大・増は、建設業界の景気浮揚だけでなく、これまで地域要望が多かった、道路の維持・修繕や公共建物の修繕が実施でき、市民の期待も大である。施策展開にどのように生かしていくか。</p> <p>(1) 雲南市立病院建設基本構想が策定された。そのなかで病床利用率を90%と設定しているが、医師・看護師にとっては、目標とは言え、90%は非常に高いハードルである。ハードルを下げて健全経営はできないか。</p> <p>①特に看護師にとっては、ハードな職場となり、定年前の離職が心配され、年齢構成からして10対1看護の維持ができるかどうか懸念される。そうした心配はないか。</p> <p>②①のことからしてハードルを下げて健全経営をすべきと考えるが、なぜ、80～85%程度に設定できないか。</p> <p>(2)改築後は2次医療機関としての充実が今以上に求められるが、病院経営の最重要課題は医師の確保と解している。そのためには大学医局との綿密・良好な関係が求められると考えるが。</p> <p>①島根大医局とは「しまね地域医療支援センター」の設立等での関係に期待されるが、岡山大、鳥取大の医局とのつながりをどのように維持していくか。</p>	

質問 順位	①会派名 ②議員氏名 ③議席番号	項 目	要 旨	備 考
			<p>(3)二次医療機関は「まずは、病気を見つける」ことが第一の使命だ。そのためには医師の確保と共に最新の医療機器が必要だ。医療機器の更新について伺う。</p> <p>①改築時の医療機器の更新は8億円と示された。事業費総額65億円設定の中でのしわ寄せで医師・検査スタッフの意にそぐわない物であってはならない。これでいけるのか。</p>	